

長野県自転車活用推進計画ネットワーク会議（令和3年9月書面会議）出席者からのご意見要旨

【全体】

- 各市町村・地域での自転車活用推進計画策定が進んでいるが、軸足がやや観光に寄り過ぎている感がある。自転車がこれからの時代のまちづくりに大きくかかわってくる、という視点がより必要。
- 自転車の活用については、ゼロカーボンの実現＝SDGsのゴールへの貢献につながる各種取り組みの一環として気軽に取り組めるものであることから、重要な課題と考える。中心市街地に自転車と電気自動車のみ限定で通行できるエリア設定を想定するなど、長期的な観点から環境整備が進められることを期待する。

【利用環境整備】

- 安全に走行できる道路の整備を推進していくことを希望する。
- 自転車を防災に活かす手立てを広げていければと考える。
- 駐輪場の整備について積極的に対応願いたい。市街中心部での駐輪スペースがないことにより、買い物が不便だという声がある。
- 「あずみ野やまびこ自転車道」の整備促進を期待する。

【観光振興】

- 関係団体等と連携し、引き続きサイクルツーリズムの推進に取り組みたい。
- 自然公園以外にも、スキー場のグリーンシーズンの活用へ範囲を広げ、周辺道路や林道を含めた整備やサポートを期待したい。

【安全・安心／保険加入促進】

- 点検・整備や自転車保険加入の必要性について更に周知願う。
- 講師派遣やチラシの作成等を行っており、県の啓発取組に協力していきたい。
- 自転車は車道通行が原則であるにも関わらず、歩道を通行していることから、交通信号を無視して横断するケースが散見され、出会頭の事故につながる危険が高い。
- 自転車事故の多くは若者であり、その原因も自転車側に多いことは周知されていることだが、この改善策が浸透されていないことが問題点だと考えている。
- 自転車通行ルールの啓発について、特に通学で自転車を利用している高校生や、専門・大学生に教育・啓発機会を多く設けていただきたい。
- 学生への意識啓発については、親世代への周知・啓発が重要であると考えられるため、全体で意識啓発を行うためにも、職域を通じた情報提供の機会もお願いしたい。
- 地域の公民館活動において、高齢者を対象とした自転車（軽車両）の道路交通法のわかり易い解説と、乗り方特に（漕ぎだし、停車）のふらつき防止等の実技講習会が有効と思う。